

朝日新聞静岡支局から 取材がありました！

10月5、6日、朝日新聞静岡支局から阿久沢記者が長生炭鉱の取材に訪れた。「遺構の残る炭鉱シリーズ」という連載記事のひとつに取り上げてくれるという。新山口駅で落ち合い、長生炭鉱「追悼ひろば」に案内した。「殉難の碑」「ピーヤ」を経て、西光寺にも取材に行き、長年位牌を預かってこられた住職のお話も聞くことができたという。

次の日、取材のアポを取るのにずいぶんと時間がかかったが、宇部市役所も取材ができた。事務的な対応に少々驚いていたようだ。続いて、長生炭鉱の「坑外図」がある「学びの森くすのき」を案内し、その後お父さんが当時長生炭鉱で働いていたという在日のお宅を訪問した。焼き肉をおいしく頂きながら直接在日の思いを聞くことができて喜ばれていた。

コロナで活動が思うように進まない中で、先日の共同新聞社に引き続き、マスコミが取り上げてくれることがどれ程ありがたいことかと心から歓迎した。この記事がまた全国に広がっていくことを期待したい。

刻む会

たより

NO. 79

2020年12月25日

長生炭鉱の水非常を歴史に刻む会

共同代表

井上洋子・木村道江

事務局 宇部市常盤町一―一九（宇部緑橋教会内）
カンパ振込先 ゆうちよ銀行 □座番号 01590・7・32405

名義 長生炭鉱の「水非常」を歴史に刻む会

年会費

《正会員》個人3,000円 団体5,000円
《賛助会員》個人1,000円 団体2,000円

ホームページ

<https://www.chouseitankou.com>

メール

chouseitankou@gmail.com



現場へ！

会いたい父よ事故で海底に

強制労働の足跡をたどる ④



海底炭鉱から突き出たピーヤ（排気・排水筒）の前に立つ井上洋子



炭鉱事故を歌にしたハルナユ＝福岡市、本人提供



①「長生炭鉱の水非常を歴史に刻む会」が建てた犠牲者追悼碑
②西光寺に残る朝鮮人犠牲者の位牌＝いずれも山口県宇部市床後

山口県宇部市の床後海岸。白い砂浜の沖合に、2本の太い柱が立っている。「ピーヤ」と呼ばれる海底炭鉱の排気・排水筒だ。その日に新聞各紙が報じた。坑道に海水がドッと入り、坑口への急勾配を登り切れずに大勢が死んだ。事故は「水非常」と呼ばれた。30年後に炭鉱を訪れた高校教師の山口武信（故人）は事故を調べると、背景に日本の植民地政策や人権問題があると気づいた。事故当時の長生炭鉱の別名は「朝鮮炭鉱」。不足する労働力を植民地に求めた。会社の記録によると39・41年に21・35歳の1258人を連れてきた。逃亡が相次いだため、合宿所に軟禁した。山口は11年、地元有志と「長生炭鉱の水非常を歴史に刻む会」を結成し、追悼碑の建立に取り組み、犠牲者の本名を特定するた。会はず、名簿の本籍地に手紙を送った。韓国から17通の返信があった。

「これが初めての消息です」「遠い異国の海の底に眠るわが父に会いたい」「無念に亡くなった方の靈魂を救いあげろ道がない」とは、会の共同代表、井上洋子（70）は遺族の悲痛と怒りの強さを胸を打たれた。その後、命日の追悼式に招待した遺族らとの交流の中で、「同じ犠牲者でも、日本人と朝鮮人を同列に扱えない」と考える

イトルは韓国語で「行かないで」の意味。海に仕事に出る夫に「私から離れないで」と妻が叫ぶメロジを曲にした。3年前、柳は初めて追悼集会に参加した。韓国の遺族女が「父の死をどう受け止めていいかわからず、出家して尼になった」と話すのを聞いた。震える声に、生死すら知らなかった長生炭鉱の罪深さを思った。一方その日本人がこの事故を知らない。「歌を通して歴史が日本の若い世代にも伝われば」と期待する。会は今、遺族会と連携し、「ピーヤの保存」と「遺骨の発掘・収集」を求め、宇部市や山口県と交渉を続けている。「故郷で安らかに眠らせてあげたい」という遺族の希望は強い。運営委員の松元一也（63）は「技術的には可能ではず。遺骨を返さない限り、この問題は終わらない」と力を込めた。

祖母が遺族にあたるシンガー・ソングライター、ハルナユの柳馨菜（42）は昨年、長生炭鉱事故を歌った「カチマヨ」を発表した。タ

2020年12月10日（木）
朝日新聞夕刊全国版に掲載されました！

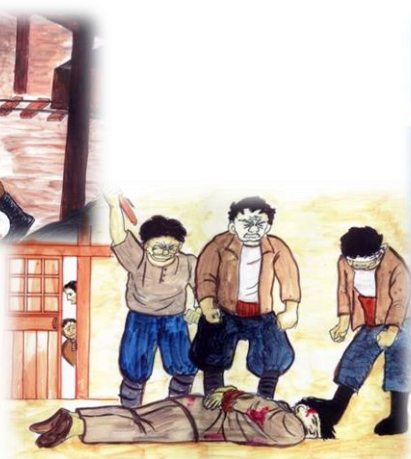
平和フェスタ 2020



木村道江代表が
お話しているところ

例年夏に開催の平和フェスタも、新型コロナウイルスの影響もあり、10月に延期されました。「刻む会」はこれまで夏の学習会の一環として実行委員会に関わり、パネル展示やDVD上映などを行ってきました。

今年度は展示は無しで、Web視聴をメインとしたパブリックビューイングの形式で開催され、「刻む会」からはDVD「アボジは海の底」上映と木村道江共同代表のお話の約30分間を担当しました。残念ながら、映像が録画できなかったのですが、内容は大変好評でした。



活動日誌 (前回たより以降及び前回不足分)

- 8/22(土) 真相究明ネットワーク事務局会議 (Web)
- 9/12(土) 真相究明ネットワーク事務局会議 (Web)
- 9/13(日) (日韓青少年交流)BIYP実行委員会(Web)
- 10/5・6(月・火) 朝日新聞静岡支局から阿久沢記者訪問(宇部市)
- 10/10・14(土) 平和フェスタ2020(宇部市)
- 10/14(水) 山口朝鮮初中級学校補助金カットに対する抗議座り込み行動及び座談会参加(山口市)
- 10/18(日) 真相究明ネットワーク主催「明治産業革命遺産に係る強制動員の歴史を伝える」集会(Web)
- 第25回無窮花堂秋季追悼式(飯塚市)
(日韓青少年交流)BIYP実行委員会(Web)
- 11/10・11/22(木) 第7回運営委員会(宇部市)
- 11/11(水) 山口朝鮮初中級学校補助金カットに対する抗議座り込み行動及び座談会参加(山口市)
- 11/11・15/12(木) 第8回運営委員会(宇部市)
- 11/11(日) (日韓青少年交流)BIYP実行委員会(山口市)
- 12/1(火) 追悼ひろば名板リニューアル確認会(宇部市)
- 12/5(土) 真相究明ネットワーク事務局会議 (Web)
- 12/9(水) 山口朝鮮初中級学校補助金カットに対する抗議座り込み行動及び座談会参加(山口市)
- 12/12・2017(木) 第9回運営委員会(宇部市)
- 12/12(日) (日韓青少年交流)BIYP実行委員会(山口市)

名板刷新！学習機会充実へ “追悼ひろば”

2013年に追悼ひろばができてから、フィールドワーク時の雨避けと日除けを目的として屋根を設置したのははじめ、長生炭鉱の悲劇をイメージして製作してくださったチェ・ダヘさんの絵画の設置、誰がいつ訪れても理解しやすいように壁資料の展示やリーフレット置き場の設置など、いろいろと拡充作業をしてきました。また、草刈りや庭木の剪定なども時期をみながら実施しています。

一方で、7年もの月日が経って、追悼碑にもメンテナンスが必要になってきました。一番の問題は、メインである犠牲者の名前が明記されている名板が7年の間に日焼けをしてしまい、名前が読みにくくなったことです。2～3年前から韓国遺族会とも相談しながら様々な検討を重ねてきましたが、この度、木の名板から石の名板へ作り直すこととなりました。79周年の追悼集会には新しい名板を設置予定ですので、ぜひお越しください。



2013年建設時の追悼碑



名板の色に
注目！



現在の追悼碑



今年1月、壁資料を設置しました。誰が訪れても学習ができます。壁資料の下には海底から引き上げた坑木が展示されています。



日韓青少年交流で関係が深い韓国ブチョン市出身の若い芸術家チェ・ダヘさんが制作した絵画

拡充や維持にも費用がかかります。カンパをよろしくお願いします！

リーフレット置き場
日本語・ハングル語・英語のリーフレットが設置されています。コミュニケーションノートもあります。追悼ひろばを訪れた記念に一言どうぞ！



雨避け日除けのカーポートは、夏の台風で歪みが生じ、危険なので、補修工事を行います。

明治産業革命遺産における強制動員の歴史を伝える Web 集会に参加して

書記 山内弘恵

去る10月18日(日)、強制動員真相究明ネットワーク主催のWeb 集会が開催された。今年に入ってから、新型コロナウイルスの影響で、5月に予定されていた全国集会が延期を余儀なくされていたが、感染防止対策をしながら、新しい形での会議や集会が模索されてきた。この集会も強制動員真相究明ネットワークとしては初めてのWeb開催だった。通常の事務局会議はWebで行っていたが、集会となると広く参加を呼びかけるが、妨害を避けるため、参加者の事前集約など通常の集会とは違う労力も必要となる。今回の集会は事前申し込みが100名ギリギリだったらしい。実際の参加者も常に70名を超え、最大80名に及んだ。更に、集会後、新規加入者を獲得するという成果も得ている。

さて、集会の内容についてだが、ご存じの通り、2015年7月「明治日本の産業革命遺産」が世界遺産として登録された。その中には、私達が住む山口県の萩の松下村塾なども含まれている。しかし、この時、登録の条件として朝鮮半島出身者等に対する「強制徴用・強制労働」があったことを明示するという条件付きでの登録だった。にもかかわらず、5年経った今でもその史実は明示されるどころか、ユネスコからの勧告を受けてもお、明示しようとはしていない。これに対し、この5年間、真相究明ネットワークは様々な形で問題提起をしてきた。

今年3月、東京に産業遺産情報センターが開設された。しかし、この建設には様々な問題があった。これらの事実は真相究明ネットワークの密な調査研究によって明らかになった。この事実及び、強制動員・強制労働の事実を広く知ってもらうために、今回の集会が開催された。講演は、3部構成で行われた。

第1部 全体報告

- ・「否定できない強制労働」明治日本の産業革命遺産問題 … 竹内康人さん
- ・「強制動員の歴史を否定する産業遺産情報センターの展示」 … 中田光信さん(事務局長)
- ・「産業遺産国民会議の財務表問題について」 … 小林久公さん(事務局次長)

第2部 韓国からの報告

- ・「なぜ強制動員被害者の声が聞こえないのか」 … 金丞根(キムスンウン)さん(民族問題研究所)

第3部 地域からの報告

- ・「長崎の朝鮮人強制労働」 … 新海智弘さん(岡まさはる記念長崎平和資料館・副理事長)
- ・「長崎における中国人強制労働」 … 平野伸人さん(長崎の中国人強制連行裁判を支援する会)
- ・「三井三池炭鉱と強制労働」 … 城野俊行さん(前大牟田地区高等学校人権・同和教育研究協議会会長)

最後に、太平洋戦争犠牲者補償推進協議会共同代表の李熙子(イヒジャ)さんが韓国被害者の訴えを述べ締めくくった。

見過ごしがちの問題だが、この問題は、史実をどうとらえるのかという根本的な問題を提示していると思う。地元山口の問題としても、今後しっかり注視していきたいと感じた。(内容について、詳しく知りたい方はご連絡ください。)

真相究明ネットワーク発刊 「明治日本の産業革命遺産」と強制労働

2017年日韓共同製作により日本語・ハングル語・英語の3か国語で発刊
Youtubeでも映像版が見られます。

事務局でも扱っています！
500円/1冊



関連書籍として、2018年に竹内康人さんが執筆した『明治日本の産業革命遺産・強制労働Q&A』が社会評論社より発刊されています。とても分かりやすいのでお勧めです！こちらは書店でお求めください。

参考資料

集会に先立って、真相究明ネットワークは日韓の関連団体で共同声明を出しています。また、日本政府に対しても要望書を提出しました。

共 同 声 明

2020 年 7 月 14 日

産業遺産情報センターでの強制労働否定の展示に抗議し、 強制労働被害の実態やその証言の展示を求める

日本の安倍政権が官邸主導で推進した「明治日本の産業革命遺産」のユネスコ世界遺産への登録は、日本の明治期の産業近代化だけを賛美し、過去の侵略戦争とその下での強制労働の歴史を排除するものであった。この登録推進は、平和に向けて世界の人民の知的精神的連帯を進めるというユネスコ憲章の精神に反するものであり、また、強制労働被害者の存在を無視するものであることから、国内外で強い批判を受けることになった。ユネスコの諮問機関イコモスも「歴史の全貌を記述すべき」と勧告した。

2015 年の世界遺産登録にあたり、日本政府は「(1940 年代に) その意に反して連れて来られ、厳しい環境の下で働かされた多くの朝鮮半島出身者等がいた」「(第 2 次世界大戦中に) 徴用政策を実施していたことについて理解できるような措置を講じる」「インフォメーションセンターの設置など、犠牲者を記憶にとどめるために必要な措置を説明戦略に盛り込む」と約束した。国際会議で、意に反する連行と労働の存在に言及し、犠牲者を記憶するとしたわけであり、換言すれば、強制連行・強制労働を認知し、その犠牲者を記憶する展示をおこなうと約束したのである。しかしその直後、日本政府はこの文言は「強制労働に当たらない」と強制労働を否認した。さらに政府によるユネスコへの「保全状況報告書」(2017 年)では「日本の産業を支えた朝鮮半島からの大量の労働者がいた」と表現し、「その意に反して連れて来られ、厳しい環境の下で働かされた」という表現から認識を大きく後退させた。

また、日本政府と共に登録を推進した産業遺産国民会議は、端島(軍艦島)をテーマに「軍艦島は地獄島ではない」とする宣伝を始め、端島では朝鮮人や中国人の強制労働はなかったと主張するに至った。この強制労働否定の宣伝を産業遺産国民会議専務理事として担ってきたのが、明治産業革命遺産の世界遺産登録を推進してきた加藤康子氏であり、加藤氏は内閣官房参与としても活動した。日本政府はこの産業遺産国民会議に「朝鮮人労働者を含む労働者に関する情報収集」などを委託したが、その報告書には強制労働否定の意図がみられ、強制労働被害者の証言が収集されることはなかった。

2020 年 6 月に一般公開された産業遺産情報センターはこのような日本政府による強制労働の歴史否定の動きの結果であり、同センター長になったのは加藤康子氏である。マスコミ報道などによればこのセンターの端島炭鉱展示での元島民の証言は、端島は仲良しのコミュニティであり、民族差別も強制労働もなかったという形でまとめられている。強制労働被害者の証言の間違ひは指摘するが、強制労働被害の証言そのものの展示はない。産業遺産情報センターの展示は強制労働の歴史を否定するものである。

日本政府は明治産業遺産登録を通じて戦時の強制労働の歴史を否定するに至った。しかし、そのような行為は、世界の人民の知的精神的連帯を進めることによる平和の形成というユネスコの精神に真っ向から対立するものである。また、労働を強制された被害者の尊厳を再び侵すものであり、許されざる行為である。強制労働の歴史を否定する行為は今すぐ改めるべきである。その歴史の清算なくして東アジアの友好と平和はないことを自覚すべきである。

われわれは、産業遺産情報センターでの強制労働否定の展示に抗議し、日本政府が強制労働の存在を認め、強制労働被害の実態やその証言を展示するよう求める。日本政府は世界遺産登録での国際的な約束を守るべきである。

また日本政府が「関係者間の継続的な対話を促す」というユネスコ世界遺産委員会の決議(2018 年)をふまえ、強制労働被害者の団体や専門家など対話し、産業遺産情報センターを東アジア共同の記憶センターとしていくことを提案する。

【声明団体】日本及び韓国 (略)

2020年 第25回無窮花堂秋季追悼式(報告)

顧問 内岡貞雄

1. 日時 2020年10月18日(日)
11時10分～12時10分
2. 場所 国際交流広場無窮花堂(飯塚霊園)
3. 内容は左記の通り(司会:原中誠志さん・理事)

- ①沈黙
- ②開会挨拶 民団 韓光インさん
- ③主催者挨拶 理事長 吉柳順一さん
- ④来賓紹介 代表挨拶 チョン・ソクキョンさん(駐福岡大韓民国総領事館総領事)
- ⑤献歌 アリラン他
- ⑥献花 参加者全員(約40名)
- ⑦閉会挨拶 総連 李鐘健さん
- ⑧その他 歴史回廊、遺族招聘などに際しカンパのお願い

〔「刻む会」団体加入10,000円済〕

【感想】

○コロナ禍で参加者は例年より若干少なかった。

○現在117柱の遺骨が納骨堂に安置(写真参照)。

2001年、2003年(裴来善さんの時)

2柱遺族へ返還

2017年7月 (吉柳順一理事長) 1柱遺族へ返還

○在日大韓基督教会小倉教会(朱文洪牧師)と協力して、7柱の遺族の判明につながる情報

がもたらされたという。(吉柳順一理事長、資料・週刊金曜日)

○「刻む会」会員の裴東録さん、大和裕美子さん参加。

福岡朝鮮歌舞団(団長・金妙穂さんら参加)

○在特会系の人たちの参加は見られなかった。

○飯塚市職員数名の参加があったが市長メッセージはなかった。



朝鮮学校を支援する 山口県ネットワーク

コロナ禍でもがんばってます!

コロナ禍でも、マスク着用、ソーシャルディスタンスを保ちながら毎月第2水曜日の山口県庁前座り込み行動は継続しています。

来月は、1月13日(水)11:40～2月は全国一斉行動月間で2月10日(水)に行動が予定されています。ぜひ、ご参加ください!

なお、ネットワークでは、ML(メールで情報発信)会員及びカンパを募集しています!

カンパ振込先

郵便振替

01360-3-105033

ゆうちょ銀行

店名〈店番〉一三九

当座 0105033

只今、幼保無償化署名運動実施中!

3月末まで!

ご協力よろしく

お願いします!

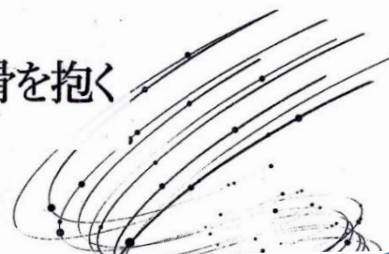


「遺骨の身元が一致しました。7名分です」
10月3日、筑豊(福岡県)の「強制連行を考へる会」代表の占部哲生さんから電話が入った。父・崔昌華牧師が1973年以降、筑豊の寺をまわり、朝鮮人の遺骨157柱を引きとって、納骨堂「永生園」に安置した。一致したのは、その7体だ。今年3月、占部さんのグループとともに「永生園」で85柱の骨箱を一つひとつ開いた。その中から、氏名・生年月日・本籍地の記載があり、死亡年が徴用期間にあたる13柱の身元確認を韓国政府へ依頼していた。正直なところ、戦後75年も経っているのに、難しいかもしれないと思っていた。日本の敗戦後、徴用された家族が戻らなかった遺族は韓国政府に真相究明を求めた。2005年、韓国政府は被害の受付を始め、2年間で約20万人が、徴兵、徴用、軍慰安婦などの被害を申請した。

今回、身元確認を依頼した13柱のうち4柱が「強制動員被害届」のデータと一致。遺族につながる可能性が高い。ほかの3柱は、埋火葬許可書と創氏名・生年月日が一致した。一刻も早く遺族に伝えたい。

週刊金曜日
2020.10.16(1300号)
社会部
山口県ネットワーク

骨を抱く



会計報告（2020/09/01～2020/11/30）

【一般会計】

（円）

	科 目	年度予算	期間実	累計	達成率	備考
	歳入					
1	会費	600,000	52,000	475,000	79.2%	
2	寄付金	900,000	83,500	400,000	44.4%	※
3	物販	46,000	1,000	1,700	3.7%	
	証言・資料集	36,000	1,000	1,700	4.7%	
	その他	10,000	0	0	0.0%	
4	雑収入	4,000	3,740	3,740	93.5%	電柱設置料
5	前期繰越金	51,156	0	51,156	100.0%	
6	特別会計より繰入	0	0	0		
	合 計	1,601,156	140,240	931,596	58.2%	
	歳出					
1	事務費	50,000	7,619	30,074	60.1%	
2	広報費	300,000	70,996	221,355	73.8%	会報誌送料・印刷
3	会議費	30,000	0	0	0.0%	
4	追悼碑管理費	10,000	1,021	2,872	28.7%	電気代 9～11 月分
5	活動費	1,035,000	0	1,800	0.2%	
	学習会等	135,000	0	0	0.0%	
	追悼集会	650,000	0	0	0.0%	
	その他活動	250,000	0	1,800	0.7%	
6	他団体会費等	40,000	16,000	34,000	85.0%	無窮花友好親善の会 うべネット他
7	雑支出	65,000	1,285	31,757	48.9%	
	手数料	45,000	1,285	31,757	70.6%	
	その他	20,000	0	0	0.0%	
8	予備費	36,156				
9	特別会計へ繰出	35,000	0	0	0.0%	
	小 計	1,601,156	96,921	321,858	20.1%	
10	繰越金	0	43,319	609,738		
	合 計	1,636,156	140,240	931,596	56.9%	

※寄付者（敬称略）

阿久沢悦子 麻野 他郎 池内 友子 内山 新吾 小川 順子 鎌田 清 杵渕 智子
 熊野 譲 桑久保亮太 白川 猶子 関谷 陽子 田上 中 朴 順 子 福田富美子
 松富 昭子 宮田 幸好 山県 順子 山本 興治 梁 大 隆 医療生活協同組合健文会
 在日本朝鮮山口県商工会 東京朝鮮人強制連行真相調査団 その他匿名5件

【追悼碑特別会計】

収入			支出		
科目	金額	備考	科目	金額	備考
繰越金	1,178,522				
繰入金	0		繰越金	1,178,522	
合 計	1,178,522		合 計	1,178,522	

【遺骨収集等特別会

収入			支出		
科目	金額	備考	科目	金額	備考
繰越金	1,776,668				
繰入金	0				
			繰越金	1,776,668	
合 計	1,776,668		合 計	1,776,668	

以上感謝をもってご報告いたします。引き続きのご支援をお願い申し上げます。

書籍のご案内

真相究明ネットワーク発刊

「明治日本の産業革命遺産」
と強制労働

500 円



事務局で取り扱っている書籍のご案内です。ご希望の方は、事務局までご連絡ください！

「刻む会」発刊 証言資料集 全3冊

絶賛！好評発売中！

頒布価格 1冊 300 円

2冊セットで 500 円

3冊セットで 700 円

韓国・真相糾明委員会発刊書籍

←『日本の長生炭鉱水没事故に関する報告書』
ご希望の方はカンパ 1000 円でお送りします。

『委員会活動結果報告書』（日本語版）→
ご希望の方は、カンパ 300 円（送料込）でお送り
します。

日帝強制動員被害者支援財団翻訳叢書

4冊セット 3000 円（送料込）で頒布します！

日帝強制動員被害者支援財団翻訳叢書

お申込は：小畑太作

(taisaku@mac.com / fax 0836-21-8003)

口述記録集「ボンボン船に乗って海の幽霊になるところだったよ」(忠清道から福岡、長崎、佐賀など九州への動員)

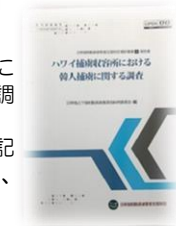


口述記録集「朝鮮という私たちの国があったのだ」(大阪造兵廠、群馬中島飛行機、沼津軍属、佐世保、呉、東京陸軍被服廠、捕虜監視員など軍属として日本、東南アジア、中国への動員)



報告書「ハワイ捕虜収容所における韓人捕虜に関する調査」
+韓国語の「太平洋戦争実記集」(沖縄の阿嘉島への動員、特設水上勤務 103 中隊)

報告書「朝鮮人 BC 級戦犯に対する真相調査—捕虜監視員の動員と戦犯処罰の実態を中心に—」



79 周年追悼集会のご案内

2021 年 1 月 30 日(土)

に開催します！

11:00～

第 1 部

場所 追悼ひろば

14:00～

第 2 部

場所 ヒストリア宇

部

※振替用紙を同封しています。

振替用紙を同封しています。
今年度の会費納入及び、追悼集会への
カンパをお願いします！

※納入情報は封筒の宛名下に記載していますのでご確認ください。

い。

その他 追悼集会チラシを同封しています。

今後の予定

2021 年 1 月 15 日(金) 10:30～12:30

第 10 回運営委員会

2021 年 1 月 13 日(水) 11:40～

山口朝鮮初中級学校補助金カットに対する抗議座り込み行動及び座談会

2021 年 1 月 30 日(土) 79 周年追悼集会

2021 年 2 月 10 日(水) 朝鮮学校を支援する全国行動月間 山口行動

2021 年 2 月 13 日(土)、14 日(日)

草の根交流 使用済み切手まつり

場所 防府アスプラート

主催 実行委員会

※「刻む会」もパネル展示で参加します！

事務局より 会員動静 (2020 年 12 月 10 日現在)

正会員 128 名 (当年度総会比+2 名)

賛助会員 271 名 (当年度総会比±0 名)

寄付者 105 名 (当年度総会比±0 名)

計 504 名 (当年度総会比+2 名)

会員・寄付者募集中！知人・友人にぜひ一声お願いします！